

令和4年度 青山地区自主防災訓練

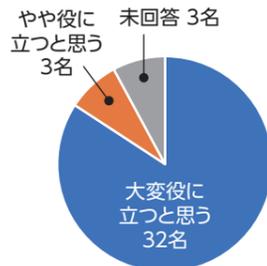
令和4年11月27日(日)午前9時～午前12時

青山地区自主防災訓練、コロナ過で第8波を懸念するなか、参加人数を減らし開催しました。テーマ「つなぐいのち」過去の災害から学ぶ、ワークショップでは避難所運営を実践しました。

主旨として避難所運営は地域住民が主体となって開設、運営することを柱としました。会場準備からダンボールベッド、パーテーションの搬入まですべて参加者にお願しました。ジャンケンからの自己紹介では、会場に笑顔があふれ、楽しく減災・防災について考えることができたと思います。

三木市危機管理課、三木市防災リーダーの会の皆さんにもご参加いただきました。ご協力ありがとうございました。

54名参加
アンケート回収:38名



ご意見・ご感想 (一部をピックアップさせていただきました)

- 家庭でも災害に備えた備蓄が必要だと思いました。
- 毛布、非常食、ダンボールベッド、パーテーションなど、やはり足りていないと感じました。増やしていただきたい。
- 公民館にお水の備蓄がないことが気になりました。
- 色々な情報や知識があるといざという時に全然違うと思うのでこのような訓練の機会は有難いです。
- 災害時における自治会の「和」一人ずつの協力が大切だと分かりました。
- ダンボールベッドが結構広いと感じました。公民館の収容人数、5人家族として、300名程度と思いました。
- 災害ボランティアをして下さっている方がいらっしゃると言うことは心強く有難いことだと思いました。
- 青山公民館が避難所に指定されていることは知っていましたが、非常食や毛布の保管場所、災害用倉庫の場所が分かり良かったです。
- 災害時の基本的な対応が学びました。参加してほんとうに良かった。

ありがとうございました!

ホームページ

2022年4月より青山まちづくり協議会ホームページが本格的にスタートしました。青山全体の情報発信はもちろん、各丁目ごとのお知らせを毎月更新しています。スマートフォンから簡単にアクセスできますので、是非チェックしてみてください。



編集後記

2022年は「三年ぶりの開催」という言葉が多く聞かれた一年でした。三木市における各種イベントは、規模の縮小を余儀なくされてはいるものの、少しずつ以前の姿を取り戻しつつあります。2023年は、青山の住民の皆様とともに、活気あふれるまちづくりに向けて進んでいけることを願っています。



青山まち協だより 第10号

〒673-0521 三木市志染町青山3丁目15-2(青山公民館内) TEL:0794-87-1300

発行:まちづくり協議会
広報部会
令和5年1月20日 発行号

ごあいさつ

地域の新たな課題「地域とともにある学校づくり」

コミュニティスクール(コミスク)が動きはじめます

コミスクとは、学校内に校長(教職員)と地域と保護者の代表からなる「学校運営協議会」を設置している学校のことです。

学校運営協議会とは、保護者や地域住民が学校の作戦本部や応援団として、子どもたちの育成に学校・保護者・地域が一体となり「**めざす子ども像**」について熟議し、協働していく仕組みです。

子どもにどんな力をつけさせたいのか、地域でどのような子どもを育てたいのか等の目標を共有し「地域とともにある学校づくり」をめざすものです。

これまでの人の目垣根隊、読み聞かせ、花壇整備、ゲストティーチャー含む学習支援、PTA活動などは、引き続き支援していきます。

学校運営協議会の委員は、PTA、自治会、学校評議委員など地域各種団体から選出し、協力して役割を担うこととなります。

※学校評議委員・学校関係者評価委員は学校運営協議会に移行します。

紙面の都合上詳細を述べることはできませんでしたが、今後は、まちづくり協議会においても研修会を重ね理解を深め、地域の皆様方に分かり易くお伝えしていきます。結びに、コミスクをとおして人とのつながりを感じ、地元への愛着を育み、青山を大切に思う子どもたちの育成の一助になればと願うばかりです。

※三木市教育委員会 資料参照



青山まちづくり協議会
会長 又吉 健二

青山まちづくりのキーワード

